

丸の内熱供給 株式会社

東京都千代田区



約559万㎡への熱供給を行う、業界屈指のリーディングカンパニー

拡める



丸の内パークビル



大手町カンファレンスセンター

丸の内熱供給株式会社は、開発著しい東京駅周辺の大手町から西新橋にかけての一带と、港区青山で熱供給事業を展開し、環境の保全・エネルギーの有効活用などを通じて、高度な都市機能の確保に貢献している。

同社は熱供給事業を1976年に開始し、現在では6つの地区の延べ約111haの区域に立地する建物群(延床面積で約559万㎡)への熱供給を行っている業界屈指のリーディングカ

ンパニーである。

三菱地所株式会社が98年にスタートした「丸の内再構築」の第2ステージとして建設された丸の内パークビルの地下4階に、同社は2009年4月、丸の内二丁目センタープラントを建設し氷蓄熱システムを設置した。このプラントから

は、解体から42年を経た同じ地に復元された三菱一号館への熱供給も行っている。

また、連鎖型再開発の先駆けとして注目されている大手町地区の第1次再開発として建設された大手町カンファレンスセンターの地下3階に、同時期の09年4月、サブプラントを建設して氷蓄熱システムを設置した。このプラントからは、経団連会館、JAビルおよび日経ビルなどへの熱供給も行っている。

東京都環境確保条例を始めとする環境関連の法規制への対応や、都心部におけるスペースの有効活用、アメニティ向上の観点から、今回の氷蓄熱システムの導入は高い評価を得ている。



蓄熱システム導入実績

丸の内二丁目センター 2009年

・延床面積：2,934㎡（プラント面積）

■蓄熱設備概要

エコ・アイス（セントラル） 熱源機：プラインターボ冷凍機1,582kW（製氷時）×1基（三菱重工業）
蓄熱槽：346.5㎡×1基（SIL）

大手町カンファレンスセンターサブプラント 2009年

・延床面積：2,317㎡（プラント面積）

■蓄熱設備概要

エコ・アイス（セントラル） 熱源機：プラインターボ冷凍機1,230kW×1基（三菱重工業）、蓄熱槽：266㎡×1基（スタティック）